

ベナン月報(2016年1月)

主な出来事

【内政】

- 12日, FCBE, PRD, RB, UB 及び Alliance Eclairneur の5党が大統領選挙におけるザンス首相支持を表明した。
- 30日, CENA は供託金の支払い及び健康診断の結果から, 最終的な大統領選挙立候補者は36名とした。
- 29日, ボルグ県・アリボリ県保健所は, ラッサ熱で9人が死亡, 14人が感染している疑いがあることを発表した
- 29日, アザンデ内務・公安・宗務大臣はコミュニケを発出し, ベナン国民及び在ベナン外国人に対し, 安全対策にこれまで以上の配慮を行うことを呼びかけた。また, ホテル経営者には宿泊者名簿の治安維持機関への提出とX線荷物検査の導入を要求した。

【外政】

- 8日, コトヌ市国際会議場で第19回 UEMOA 首脳会議が開催され, ギニア・ビサウを除く UEMOA 加盟国7か国の首脳が出席した。また, 2013年よりヤイ大統領が務めていた UEMOA 議長はコートジボワールのウワタラ大統領に引き継がれた。
- 8日, コトヌ市国際会議場でニジェール川流域機構首脳会議が開催され, 加盟国9か国の首脳が出席した。

【経済】

- 25日, コトヌ市国際会議場多目的ホールにおいて再生可能エネルギー開発フォーラムが開催された。本フォーラムは, ユネスコ, OFID 及びパナソニックによって行われた, 学校に対する太陽光発電システム及びインターネット環境整備プロジェクトの実施を受けて開催されたもの。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ (12月31日)ヤイ大統領は国民に対し新年の挨拶を行い, 2016年が大統領選挙の年であることを強調した。(4日, La Nation 紙)
- ・ 10日, ベナン各地でヴードゥー教の祭が開催され, サバル市で開催された祭にはザンス首相が出席した。(11日, La Nation 紙)
- ・ 27日, 見習い税関職員502名の新規雇用に反対する税関職員労働組合が48時間のストライキを開始した。(27日, Le Matin Libre 紙)

【大統領選関連】

- ・ 7日, 野党 ABT は党の大統領候補として党首のビオ・チャネ(M.Abdoulaye BIO TCHANE)前

西アフリカ開発銀行頭取を指名した。(8日, La Nation 紙)

- ・ 7日, 与党グループ FCBE と連立を組んでいたバコ・アリファリ(M.Nassirou BAKO ARIFARI) 前外務大臣が党首を務める政党アマナは, FCBE が擁立するザンス首相を大統領選挙において支持しないことを明らかにし, 党の大統領候補としてバコ・アリファリ前外務大臣を指名した。(8日, La Nation 紙)
- ・ 12日, 大統領選挙立候補者の登録期間が終了し, 計48名の候補者が CENA に登録を行った。(13日, La Nation 紙)
- ・ 12日, FCBE, PRD, RB, UB 及び Alliance Eclairer の5党がザンス首相支持を表明した。(13日, La Nation 紙)
- ・ 12日, 野党 UN は, ヤイ大統領の施政を批判すると共に, 党の大統領候補を指名しない旨コミニケを発売した。(15日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, ソグロ(M.Nicéphore SOGLO)元大統領は, 自身の政党 RB が12日に発表したザンス首相支持に関し, 自身が党の決定に関与していないことを明らかにした。(22日, La Nation 紙)
- ・ 30日, CENA は供託金の支払い及び健康診断の結果から, 最終的な大統領選挙立候補者は36名とした。(2月1日, La Nation 紙)
- ・ 30日, ポルト・ノヴォ市シャルル・ド・ゴール競技場で PRD 党首のウンベジ国民議会議長及び RB 党首のレアディ・ソグロ(M.Léhady SOGLO)コトヌ市長出席のもと, ザンス首相大統領候補指名式が開催された。(2月1日, Le Matinal 紙)

【治安】

- ・ 6日, コトヌ市ゲゾ陸軍駐屯地で陸軍兵長1名が殺害された。情報によると, 殺害された兵長はコートジボワールの平和維持部隊に参加しており, 賞与の未払いに関して軍上層部と対立していた。(7日, La Nation 紙)
- ・ 18日, ロコサ市で火災が発生し, 民家が全焼した。同市では同様の火災が今月に入り既に2件発生しており, 消防は注意を呼びかけている。(20日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, モノ県アティエメ市で約2ヘクタールの大麻畑が発見され, 関係者は警察によって尋問のため拘束された。(22日, La Nation 紙)
- ・ 24日, ドボ市が隣接するロコサ市アガメ地区のロコサ大学建設予定地付近でドボ市のモータグレーダーが道路整備を行ったことが発端となり, アガメ地区の住民がドボ市に対し, ドボ市がロコサ市に干渉を深めようとしているとして大規模な抗議を行った。(27日, La Nation 紙)
- ・ 27日, ダントツパ市場で火災が発生し, 民家が全焼した。同市場では24日にも火災が発生していた。(28日, La Nation 紙)
- ・ 29日, ボルグ県・アリポリ県保健所は, ラッサ熱で9人が死亡, 14人が感染している疑いがあることを発表した。(2月1日, La Nation 紙)

- ・ 29日、アザンデ(M.Placide AZANDE)内務・公安・宗務大臣はコミュニケを発出し、ベナン国民及び在ベナン外国人に対し、安全対策にこれまで以上の配慮を行うことを呼びかけた。また、ホテル経営者には宿泊者名簿の治安維持機関への提出とX線荷物検査の導入を要求した。(2月1日, Le Matinal 紙)
- ・ 29日、クッフォ県ラロ市ドゴエデタ村で大規模な火災が発生し、約55軒の民家が全焼した。火元は民家の一軒とみられている。(2月3日, Le Matin Libre 紙)

【外政】

- ・ 2-3日、農村開発センターの引渡式出席のためベナンを訪問していたミュラー(M.Gerd Müller)ドイツ開発担当大臣は、410名のドイツ不法滞在のベナン人を強制送還することでベナン政府と協力していくとした。(4日, Le Matinal 紙)
- ・ 8日、コトヌ市国際会議場で第19回 UEMOA 首脳会議が開催され、ギニア・ビサウを除く UEMOA 加盟国7か国の首脳が出席した。また、2013年よりヤイ大統領が務めていた UEMOA 議長はコートジボワールのウワタラ大統領に引き継がれた。(11日, Le Matinal 紙)
- ・ 8日、コトヌ市国際会議場でニジェール川流域機構首脳会議が開催され、加盟国9か国の首脳が出席した。(11日, La Nation 紙)
- ・ 1月22日、日本大使館の西内臨時代理大使と IFE 財団のギュスターヴ・ゾマホン(M.Gustave ZOMAHOUN)代表は「アヴィノウェ村安全な水へのアクセス改善計画」に関する契約に署名した。(25日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 25日、アカディリ(M.Saliou AKADIRI)外相及びコンビエヌ(M.Pocoum Damé KOMBIENOU)商工業大臣は、在ベナン米国大使館、在ベナン仏大使館及びベナン人中古車輸入業者の代表団と会合を開き、米国及び欧州に入国するための中古車輸入業者の査証が取りづらくなっている問題について意見を交換した。(26日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 5日、ヤイ大統領はバニコアラ・ケル・ペウンコ・ジュグを繋ぐ215Kmの幹線道路整備の起工式に出席した。本工事の予算は1,490億 FCFA で、他に予定されているダッサ・サバル・ジュグを繋ぐ幹線道路の工事と合わせると3,350億 FCFA に上る。(15日)
- ・ 14日、通信会社ベナン・テレコムによる4Gのサービスがコトヌ市に続き、ポルト・ノヴォ市でも開始された。(15日, La Nation 紙)
- ・ 16日、マリア・グレタ発電所で120Mwの発電所建設の起工式が開催され、ヤイ大統領が出席した。建設費は1000億 FCFA に上り、本計画には英企業 Genesis Energy が参加する。(18日, La Nation 紙)
- ・ 25日、コトヌ市国際会議場多目的ホールにおいて再生可能エネルギー開発フォーラムが開催された。本フォーラムは、ユネスコ、OFID 及びパナソニックによって行われた、学校に対する太陽光発電システム及びインターネット環境整備プロジェクトの実施を受けて開催されたも

の。(27日, Le Matin Libre 紙)